

事業所名		放課後等デイサービスサラーム				支援プログラム		作成日		2025 年		1 月		13 日	
法人（事業所）理念		・子供や保護者の願いを大切にし、年齢や発達に応じて意見を尊重するなど、傾聴支援を通して子供の学力、やる気、意欲を最大限伸ばします。 ・子供の得意なこと及び可能性に着目し、自尊感情、自己効力感を高め、夢を持ち、喜びを感じられる社会生活が送れるよう支援します。													
支援方針		・保護者との面接を重視することにより、子供の障害の特性を把握し、合理的配慮の提供、ニーズに応じた発達支援を行います。 ・コミュニケーションをとることの楽しさを感じられるよう支援し、豊かな感性や表現力を養い、社会性を高めます。 ・子供の暮らしや育ちが安定し、自己選択・自己決定により地域社会へ参加するよう、生きる力を育成します。													
営業時間		11 時 0 分から 19 時 0 分まで				送迎実施の有無		あり なし							
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康保持に配慮の必要な子供（アレルギー、持病など）は、保護者面談により把握し、合理的配慮を施した上で、療育する。 ・靴をそろえる、学習用具を出す、カバンを片付けるなど、基本的生活習慣をまず身につけさせる。できないときは、繰り返し指導し徹底する。 ・早寝、早起きができているか、登校時に遅刻していないかなど、保護者との面談により把握し、問題があれば保護者面談により、解決策を共に考える。													
	運動・感覚	・学習する時の姿勢を指導し、それが定着するように、うまくできておれば褒め、崩れていれば直すなどの温かい言葉かけにより支援します。 ・屋内、発達支援室において、折り紙、工作などの微細運動を通して、手指の巧緻性を養います。 ・屋外でのボール運動、縄跳びなどの粗大運動を通して、体全体の動きの指導をし、花植え、砂遊び、夏場の水遊びなど総合的な作業により体を動かすことの楽しさを培います。													
	認知・行動	・認知行動療法を用いて、自己の勘違い、先入観の消去に努め、自分の心をうまくコントロールできるように療育します。 ・屋外での活動の中で、いやな場面に遭遇した場合、それを指導のチャンスと捉え、その対処方法を指導します。 ・不適切な行動が見受けられた場合、別室でそうだった理由（心の内）を聴き、児童とともに解決策を考え、心の安定につなげます。													
	言語 コミュニケーション	・国語学習を通して、語彙力を高め、遊びのこと、アニメのこと、スポーツのことなど、いろんな会話ができるよう支援する。 ・コミュニケーションの楽しさを感じられるよう、支援員は相づちを打ちながら聴くなど良き聴き手になり、楽しい時間を過ごすよう努める。 ・コミュニケーションに誤りが見受けられれば、モデリングにより正しいコミュニケーションを知らせ、うまくできた時は、認め褒める。													
	人間関係 社会性	・ＳＳＴ（ソーシャルスキルトレーニング）により、子供達が遭遇するいろんな場面を想定し、訓練を通して、みんなと仲良く過ごす術を培う。 ・発達支援室内において不適切な事案が発生した場合、「どうすれば良かったのか」みんなで話し合い、仲間づくりを進める。 ・子供が個人的に情緒不安定になった場合、静養室で子供の意見を傾聴し、その思いに寄り添い、十分時間を書けて、解決策を話し合う。													
家族支援		・家族の願いや希望に真摯に寄り添い、傾聴支援で以て対応する。 ・家族の持っておられる課題に対し、家族の立場に立って共に考え支援する。 ・家族からの相談に適切なアドバイスができるよう努める。				移行支援		・放課後児童クラブとできるだけ多く連携し、課題など話し合う。 ・居住する地域の子供達とのふれあいの場を設定するよう努める。 ・子供の成長・発達状況により、地域移行も視野に入れる。							
地域支援・地域連携		・地域の自治会長さんなどに運営状況を平素から伝え、連携を深めておく。 ・学校、療育機関などと可能な限り交流を深め情報交換をする。 ・土曜日、日曜日であっても支援日として、参加するよう心がける。				職員の質の向上		・職員の資質向上に関する計画を職員参加の下、策定する。 ・各種研修会情報を入手し、受講を進める。 ・参考文献・図書を購入または借用し、読書に努める。							
主な行事等		・お誕生会（毎月1回開催、歌・ゲーム・おやつ） ・施設見学（図書館・水族館・博物館・等） ・地域のお祭り参加（御国野城まつり・秋祭り）													